

子ども環境学習会

は い き ぶ つ 廃棄物について学ぼう。

講師：

【今日学ぶこと】

1. 家庭から出る廃棄物の重さ、かさ、種類を知る。
2. 3Rキッドを使い、原材料、再資源化、再商品化を知る。
3. 3Rの大切さと優先順位、さまざまな工夫と実践を知る。

1. ごみを減らそう。

たいりょうせいさん たいりょうしょうひ たいりょうはいき
(1)大量生産⇒大量消費⇒大量廃棄

わたし げんざい べんり かいてき せいかつ
私たちは現在、便利で快適な生活をおくることができます。

しかし、自分の身の回りを見てください。

たくさんの物が溢れています。たくさんの物を買(大量消費)、

それがごみ(一般廃棄物)になっています。

(2) どれだけのごみを出しているのだろう。

こくみんひとりいちにち あ やく
国民一人一日当たり約1.1キログラム、

そうはいしゆつりょう まん
総排出量では5,059万トンです。

とうきょう やく はいぶん
(東京ドーム約136杯分)



(3) ごみの中身はどんな物だろう。

家庭から出されるごみの中で、たくさんのいれもの(容器)や包装していたものが全体の60%を占めています。

その他、紙、台所から出る生ごみなど色々な種類があります。これを何とか減量しなければなりません。

(4) なぜ、ごみを減らす必要があるのだろう。

私たちが出したごみは、清掃工場で焼却されるか、そのまま埋め立てられています。

焼却された後に残る焼却灰も埋め立てられます。

埋め立てをする最終処分場は、なかなか新規には造れません。

このままごみを捨て続けると埋めたて地はいっぱいになってしまいます。

(5) ごみを減らし、資源を節約することが必要です。

埋め立て地を長持ちさせるだけでなく、自動車のガソリン、プラスチックなどの化学物質の原料は、石油です。

石油は、私たちの生活になくてはならない資源ですが、今のままでは、21世紀半ばで使えなくなることが心配されています。

スリーアール じっせん 2. 3 R を実践しよう

じゅんかんがたしやかい
循環型社会のキーワードは、3R(リデュース・リユース・リ

じゅんかんがたしやかい
サイクル)。循環型社会とは、ごみを減らし、資源やものを

たいせつ つか しゃかい
大切に使う社会です。



① Reduce(リデュース)

りょう
ごみの量を減らすために、むだなものは買わないし、もらわない
か
ようにしましょう。できるだけ、ごみをつくらないようにすることが
いちばんこうかてき
一番効果的です。

〈例1 マイバックを持参する〉

ぶくろ ひとりねんかん まい
レジ袋は一人年間300枚も使います。1枚ももらわなければ、
げんりょう せきゆ
ごみ 10グラム、原料の石油を 16ミリリットル減らすことができ
ます。

〈例2 詰め替えを選ぶ〉

せんざい せんざい しょうひん せんざい
洗剤・シャンプーなど中身をつめ替えられる商品を買いましょ
う。

〈例3 買い物の時に気をつける〉

かじょうほうそう ふよう ほうそう ことわ ひつよう
過剰包装や不要な包装を断り、バラ売りや必要なだけ買う
ようにしましょう。

また、長持ちするものを購入することも大切です。



★ みんなでエコアクション！

ごみ問題を解決するためには、私たち一人ひとりができること
から3Rを実践していくとこです。

一人の力は小さくても、みんなでエコアクション*すれば、大き
な力になります。

* エコアクション・・・環境にいい行動をすること。

② Reuse(リユース)

いらなくなったものをすぐに捨てるのではなく、洗ったり直したりして繰り返し使うことです。ビールびん牛乳びんは、洗って何度も繰り返し使う、リターナブルびんです。

その他、使わなくなった物をバザーやフリーマーケットに出したり、お下がりなどもそうです。

また、壊れた物を修理して長く使うこともリユースです。

リターナブルびんとワンウェイびん

リターナブルびんは回収されると、そのままの形で再び容器として使用されます。それに対して、ワンウェイびんとは、そのままの形では再使用できず、一度くだいてカレット*にし、高温で溶かし再びガラスびんとして生まれかわります。

*カレット・・・ガラスを小さくしたもの

〈事例1 リユースカップ〉

サッカースタジアムやイベント会場では、ごみになる使い捨ての紙、プラスチック容器を繰り返し使うリユースカップに換えて使用している所があります。

☆サッカースタジアム：横浜・新潟・甲府など

☆大規模野外音楽イベント

☆ライブハウス：全国32カ所

最近では、大規模イベントだけでなく、地域の小規模イベントやお祭りにも使用されてきています。

〈事例2 マイカップ〉

繰り返し使う容器を自分用に持ち歩き、中身だけ購入することも
できます。(仙台スタジアム・コーヒーショップなど)

〈事例3 リユース食器〉

たくさんの人が集まる、お祭りやイベントなどでは、繰り返し使える
食器を借りて使う方法もあります。終わった後に出る大量のご
みを減らすことができます。

また、リユース食器が使い捨て習慣を見直すきっかけになります。
日本全国で、22団体がリユース食器ネットワークに参加して
活動を広めています。(2006年9月末時点)

★リターナブル容器、リユースのものを選ぶようにしよう！

③ Recycle(リサイクル)

容器や包装を使い終わってもごみにしないで、分別して、資源に
戻すことです。そして、それをもう一度原材料として使うことで、
資源の節約になります。

分別するための素材識別マークがあります。資源に戻すため、
中を洗って、つぶして出します。



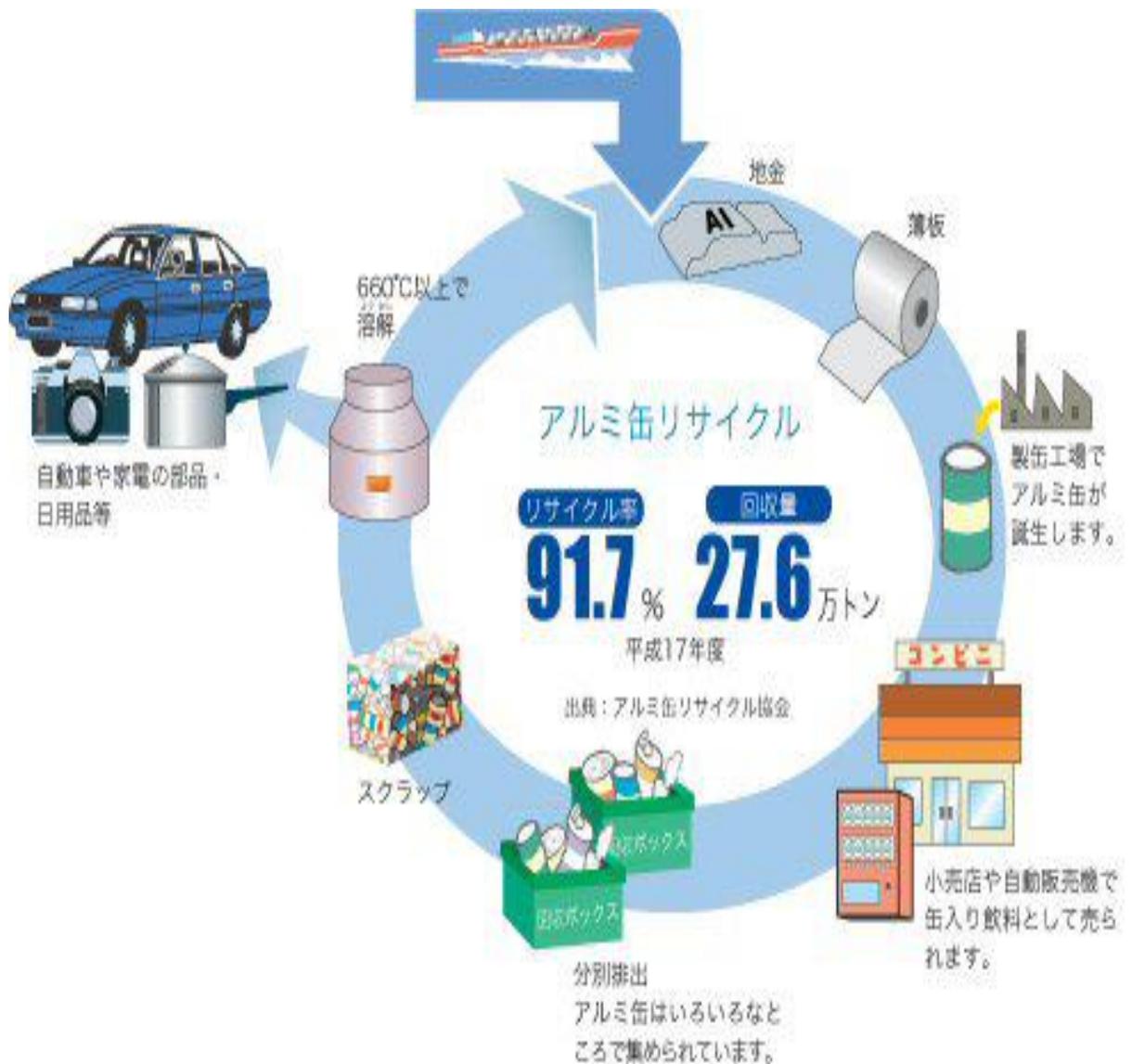
〈事例1 ペット PETボトルのリサイクル〉

石油からポリエチレンテレフタレート(PET)というペット樹脂を作り、PETボトルが誕生します。日本で1年間に55万トンも使われています。リサイクルする時は、キャップをはずし、中をすすぎ、つぶして出します。リサイクル工場で、ペットフレークになり、繊維、シート、文房具等さまざまなリサイクル製品に生まれ変わります。また、平成15年秋から再度PETボトルを作るケミカルリサイクルが実施されています。

〈事例2 アルミ缶のリサイクル〉

アルミ缶の原材料は、ボーキサイト*です。遠い海外の国から、新地金にして運んできます。資源として回収されたアルミ缶をリサイクルするとボーキサイトから新地金を製造する場合に比べ、97%もエネルギーが節約されます。これは、全国世帯数(4,953万世帯)の11日分の消費電力になります。

*ボーキサイト…赤褐色の粘土のような塊の鉱石



〈事例3 スチール缶のリサイクル〉

スチール缶をリサイクルしてできた鋼材こうざいで、1年間に東京タワーねんかんを約200基やく き つくも作ることができます。

〈事例4 紙かみのリサイクル〉

紙は、さまざまな製品に加工されます。紙全体ぜんたいの 58%をリサイクル古紙こ し しめが占めていますが、段ボールなどの板紙だんで、印刷用紙いたがみ いんさつようしや包装紙ほうそうしのリサイクルは、進すすんでいません。

また、1 リットルの牛乳ぎゅうにゅうパック 6枚まいで 1個このトイレットペーパーができます。1,500 枚リサイクルすると 20~30 年き ぼんたつ木1本そうとうに相当します。

★グリーンコンシューマになろう！

リサイクルされた再生品や環境に配慮した製品やサービスを
選んで買うことをグリーン購入と言います。

国や市町村が積極的にグリーン購入を進めるための法律、
グリーン購入法もあります。

グリーン購入を行う消費者がグリーンコンシューマです。
循環型社会によりふさわしい生活を選択することになります。

環境にいい商品には、以下のさまざまなマークがついています。

グリーンコンシューマになろう！(環境のことを考えた商品を買おう。)

	国際エネルギースターマーク 待機電力の消費電力などに関する基準を満たすパソコンやOA機器に表示されるマーク。		グリーンマーク 古紙を一定以上の割合で原料に使用した紙製品に表示されるマーク。
	再生PET樹脂リサイクル推進マーク ペットボトル再生フレーク又はペレットが25%以上原料として使用されている製品に表示されるマーク。		リターナブルびんマーク 販売店に返却して、繰り返し使うガラスびんのマーク。
	牛乳パック再利用マーク 使用済み牛乳パックを再利用した製品につけられるマーク。		再生紙使用マーク 再生紙の古紙配合率を表示するマーク。表記の数字は古紙の配合率を示す。
	省エネ性マーク 家電製品が国の定める省エネ基準をどの程度達成しているかを表示するマーク。		非木材紙マーク 非木材紙パルプを使用した紙や紙製品、加工品に表示されるマーク。
	低排出ガス車認定マーク 自動車の排出ガス中の有害物質の排出量が、75%、50%低減されていることを示すマーク。		エコマーク 環境保全に役立つと認められた製品に表示されるマーク。

イラストは、経済産業省発行の3R冊子から抜粋しました。